

ゆっ・あいネット

アナタとワタシ、
感覚に相違あり!



ワタシが思うこと

エアコンの温度設定、
ちょっと
寒いんです。。

快

寒

家庭と仕事の
両立の大変さ、
わかってもらえる?

女性用トイレ、
いつも
行列が
できているよね。

帰宅時間が夜遅いと一人歩きは
ちょっと不安です。

薬の量、
小柄なワタシも
大きなアナタも
同じなの?

ちょっとした段差も
危険です。

誰にでも
やさしい
まちづくりを
お願い
したい



日々の生活の中で、感覚が違ふと思うことは、少なからずあると思います。

一つの見方だけで決めると、知らない誰かが困ってしまうこともあるかもしれません。

こうした構造を変えるためには、**多様な立場の人々が意思決定の場に参画すること**が大事だと思います。



例えば 災害時の避難所

- トイレへの安全や衛生面への不安、支援物資のニーズは、性別や年齢などによってさまざま。

というわけで

今回は、災害時の避難所

について女性や少数派の要望をどうくみ取るかにスポットをあてて、考えていきたいと思います。



もし、災害が起きたら… 避難所での困りごといろいろ

避難所では、年齢や性別、家族構成によって感じる困りごとや必要な支援が異なります。どのようなことが起こるのでしょうか。

着替えに
にくい…

トイレに行くだけで、
毎回長蛇の列

夜、トイレに
行くのは怖い

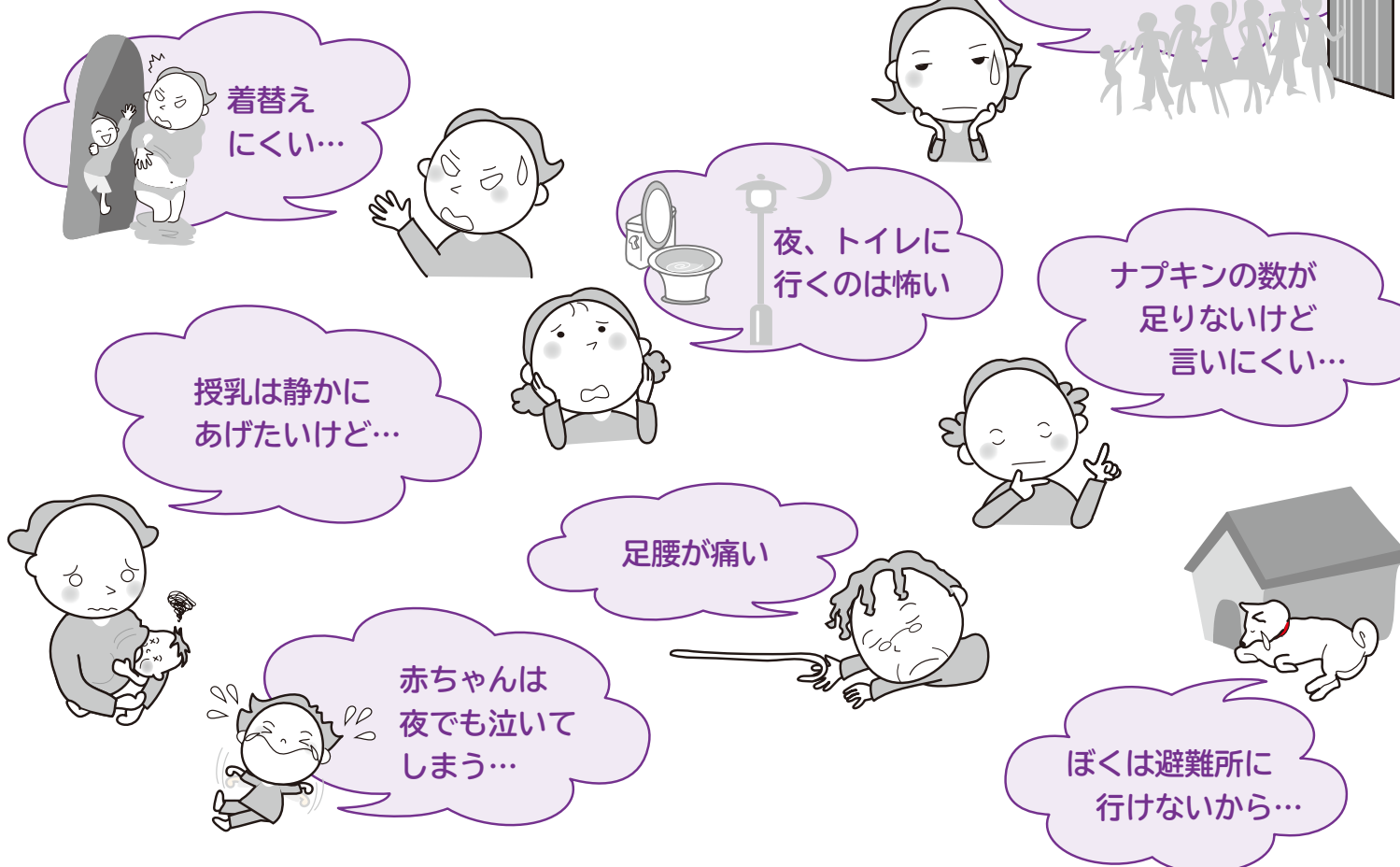
ナプキン数が
足りないけど
言いにくい…

授乳は静かに
あげたいけど…

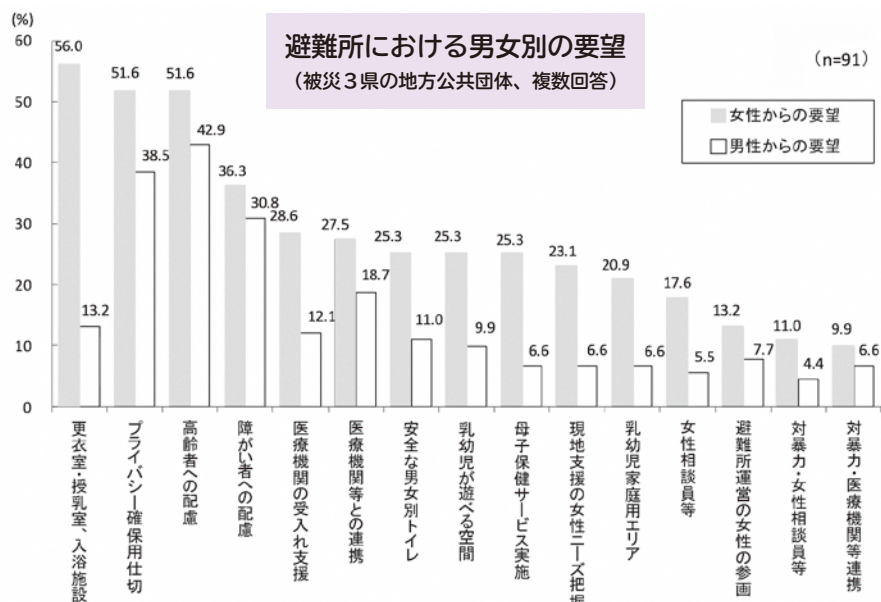
足腰が痛い

赤ちゃんは
夜でも泣いて
しまう…

ぼくは避難所に
行けないから…



避難所における男女別の要望



出典：「男女共同参画の視点による震災対応状況調査（内閣府男女共同参画局 平成 24 年 7 月）」
(<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/jyukyoku.html>) を加工して作成

左のグラフからも、男女別の要望として特に差が大きいのは更衣室・授乳室・入浴施設でした。その他、母子保健サービス実施や現地支援の女性ニーズ把握などさまざまな要望があります。

●困りごとについての解決策としては、

トイレ問題

夜間でも安全な場所
男女の使用時間差を考慮して女性トイレの数を増やす

着替え・授乳など

専用の独立したスペースを確保・設置

生理用品が足りない

気軽に相談できる女性スタッフの配置

避難所で生活しにくい状況

ペットと共に避難できる場所
介護や配慮の必要な人の専用スペースの確保

まとめ

避難所生活はいつどこで始まるかわかりません。近年、避難所の環境や運営については、さまざまな改善がされつつありますが、上記のような改善策の決定の場に女性の参画は不可欠です。他人事と考えず、まずは身近な講座などに年齢・性別にとらわれずさまざまな立場の人が参画することで、いろいろな意見が取り入れられる機会が増えていくのではないのでしょうか。

避難所チェックシートを確認しよう

① 避難所のスペース

プライバシー	☐ 授乳室（椅子、授乳用の枕やクッション、おむつ替えスペース）がある ☐ 男女別更衣室、男女別休養スペースがある ☐ 男女別更衣室、男女別休養スペースが離れた場所にある ☐ 間仕切り・パーティションがあり、その高さや大きさなどが、プライバシーの保護の観点から、十分である
要配慮者	☐ 適切な通路が確保され、段差が解消されている ☐ 乳幼児のいる家庭用エリアがある ☐ 介護・介助が必要な人のためのエリアがある ☐ 単身女性や女性のための世帯用エリアがある ☐ 女性専用スペース（女性用品の配置・女性相談）がある ☐ キッズスペース（子供たちの遊び場・勉強・情報提供）や保育エリアがある ☐ 足腰が悪い人のための寝具（段ボールベッド等）が提供されている
トイレ	☐ 安全で行きやすい場所に設置されている ☐ 女性トイレと男性トイレは離れた場所にある ☐ 女性トイレ：女性用品・防犯ブザーの配置、仮設トイレは女性用を多め ☐ 男性トイレ：尿取りパット等の配置 ☐ 多目的トイレが設置されている ☐ 洋式トイレが設置されている ☐ 屋外トイレは暗がりにならない場所に設置されている ☐ トイレの個室、トイレまでの経路に夜間照明が設置されている ☐ トイレに錠がある
入浴施設	☐ 安全で可能な限りバリアフリーに対応した入浴施設がある ☐ 男女問わず一人で（又は付き添いを受けながら）入浴できる施設がある
安全	☐ 避難所の危険箇所や死角となる場所の把握・立入制限がされている ☐ 間仕切り・パーティションが高い場合は個室の定期確認がされている
その他	☐ 各部屋に部屋札（ピクトグラム、やさしい日本語）が設置されている ☐ 掲示板による情報提供（インターネットが使用できない人・情報が届きにくい人向け）がされている

出典：「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」
(内閣府男女共同参画局 令和 2 年 5 月) (<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/guideline.html>) 一部抜粋

かめおか人権・平和 市民フォーラム2026

一人ひとりが人権尊重と平和の大切さについて理解を深め、全ての人が尊重される社会の実現を目指して「かめおか人権・平和 市民フォーラム2026」を開催します。

日 時

12月6日(日) 午前9時45分～午後3時

会 場

ギャラリーかめおか

亀岡市男女共同参画条例

性別にとらわれることなく、一人ひとりが尊重され、力を発揮できる社会の実現のため、市と市民、事業者の皆さんが一体となって取り組んでいきましょう！

ぜひ、ご一読ください！

詳しくはこちらから→



カーシェルター野水（車中避難場所）

大規模災害時に、緊急的に避難する避難場所の確保と避難生活におけるプライバシーの確保やペット同伴避難など、多様化する避難者ニーズに対応するため、車中避難専用の避難場所が整備されました。



車両収容台数195台／トイレ・シャワー室完備



マンホールトイレ

断水時でも直接下水道に接続して使用できるマンホールトイレを8基設置できます。

所在地：亀岡市吉川町穴川野水15番1外

編集後記

世界中の災害避難所で、運営のノウハウなどの不足が共通の課題です。避難したあと、公平な運営ガイドラインの把握、複数の避難所の把握、どの場所を選択するか平時から考えておくことは大事なと思いました。

ココ、こうすればもっと良くなるのに！と思うことがあっても、なかなか言えない今日この頃。あとになって「あの時言っておけばよかったな」と思うこともしばしばです。明日からはとりあえず、そんな気づきを軽く述べてみようかなと思います。

決定の場に同じ立場の人ばかりいると偏ってしまう。

当たり前のことなのだけど、すでに決まったことに対しては「そういうものなのだ」と受け流していることがたくさんあるのだと思います。

各地で災害が起こっています。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

ゆう・あいネット 編集スタッフ：野村渉子 松井由香里 森下明美

KUMON

随時見学受付中

大葉台教室 指導者 岩崎かよみ TEL 090-5068-0451

亀岡駅前教室 指導者 樋口 幹子 TEL 090-1159-8743

亀岡大井教室 指導者 宮田 友美 TEL 080-3806-1737

母乳・ミルク・離乳食
困りごと、ご相談ください。

亀岡で子育てを応援30年
にしもり助産所

電話：090-5150-7211

亀岡市宇津根町土井ノ内27-9



*記事に関するお問い合わせやご意見がありましたら次までお願いします。

〒621-8501 亀岡市生涯学習部人権啓発課男女共同参画推進係 TEL0771-25-5075 FAX0771-22-6372

電子メール jinken-keihatsu@city.kameoka.lg.jp

